

2019年度 法学部 出張講義内容一覧

担当者	専門領域	講義タイトル	講義概要
石田 若菜	憲法	自己決定権について	自分のこと（生命や身体、結婚や出産、髪形や服装など）を自分で決めるということについて憲法的に考えます。
海老澤 豊	英文学	イギリスの文化と文学	英詩のひみつ、英国庭園めぐり、ロンドンの美術館、ロンドンの歴史など
王子田 誠	商法	儲け話に気をつけよう	市民が騙されやすい「儲け話」と法律（ねずみ講、未公開株詐欺、和牛商法、インサイダー取引など）の関係について解説します。
大澤 傑	政治学	独裁はいかにして生まれ、終わるのか	なぜ世の中には独裁者と呼ばれる人が存在するのか。独裁はどのような背景で生まれ、終わるのか。実例をもとに解説します。
小貴 幸浩	憲法	最近の憲法改正論議について	最近の新聞報道等を素材にして、現在の憲法改正論議の特徴がどのような点にあるのかを考えます。
上河内 千香子	民法	「未成年」について考える	民法上「未成年」はどのように取り扱われているのか、ということを考えていきます。
菊田 秀雄	商法 (会社法)	法律を学ぶことの意義	法とは何か、法律学とは何か、大学で法律を学ぶとはどういうことかについて、例示を交えながら解説していきます。
		会社ってなんだろう？—法律学の視点から	現代の経済活動の主役である会社とは何かについて、法律学の視点から解説します。
草地 未紀	民法	消費者と法	消費者をねらった悪質商法に巻き込まれないためにはどうすればよいか。消費者を守ってくれる法律や制度を知ろう。
熊田 俊郎	社会学	まちづくりを考える	イギリスの田舎町で古本を活用してまちづくりをするブックタウン運動が始まり、ヨーロッパ各地に広まりました。このことを手掛かりにまちづくりや地方行政を考えます。
		中国の社会と都市	中国では、自由に都会に出て勉強したり働いたりすることはできません。農村出身者は出稼ぎ外国人と同じです。そんなところから中国社会を考えます。
倉島 安司	行政法	法学的な考え方とは	法学の考え方を、簡単な事例や判例を素材にして説明し、受講者とともに考える。
黒田 基樹	日本史	戦国大名の実像	ドラマや小説などでよく出てくる戦国大名の実際の姿を、一般の人々の視点から考えます。
清水 知佳	行政法	国と地方、どっちがえらい！？	地方自治とは何か、事例を交えて考えていきます。
竹内 健互	刑事法	「迷惑行為」と犯罪	日常生活の至るところで目にする各種の迷惑行為を素材として、「犯罪とは何か」について一緒に考えていきたいと思います。
千草 孝雄	行政学	日本の政治について	90年代以降の日本の政治について考える。
朴 昌明	韓国語	韓国語はわかりやすい！	日本語の文法や漢字語を比較しながら韓国語が日本語話者にとって理解しやすい言語であることを解説します。
	労働問題	「仕事」の日韓比較	日本と韓国で発生している労働問題や職場事情について、類似点・相違点を解説します。
長谷川 裕寿	刑事法	なぜ国家は処罰できるのか？	刑罰を科すのは「犯罪を犯したから」か、それとも「犯罪を犯さないように」か。この点を考えながら、物事を論理的に考える面白さを実感してもらいたいと思います。
林田 光弘	民法	なぜ約束は守らないといけないのか？	人が自分のした約束に縛られることの意味や、約束をやぶったときにどのような責任を負うのかについて考えます。
福田 二郎	英文学	『アルプスの少女ハイジ』をめぐるヨーロッパ思想史	日本では宮崎駿によるアニメで人気の『アルプスの少女ハイジ』を中心に近代の幕開けとなった19世紀のヨーロッパ思想史を概観します。
松平 光徳	知的財産法	「知は誰のものか」	人類は「知」（情報）を共有し伝えあうことで進化を遂げてきました。それでは、その「知」（情報）を誰かのものにするのは何のためか、一緒に考えましょう。
宮下 摩維子	民事訴訟法	紛争処理と法	社会には、必ず争いごとや意見の食い違いが存在します。そうした紛争をどのように解決していくのか、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

2019年度 経済経営学部 出張講義内容一覧

担当者	専門領域	講義タイトル	講義概要
明石 真和	ドイツ語学 ドイツ文化	サッカーや車から世界をのぞいてみよう!	サッカー、車、食べ物などの身近な話題を取り上げ、いろいろな国の歴史や文化、経済について考えたいと思います。
麻場 勇佑	管理会計論	経営者になってみよう!	ビジネスゲームを通して、みなさんには経営者になってもらい、会社が儲けるにあたって会計がどのように役に立つか、体験してもらいます。
市川 紀子	会計学	財務諸表分析ってなんだろう?	財務諸表は会社の通信簿の役割を果たしています。会社の経営状況を知るためには、会社が公表している財務諸表を分析することが一番です。財務諸表を分析すればどのようなことが分かるかを解説します。
		国際会計ってなんだろう?	経済経営のグローバル化にともなって国境を越えたビジネスの機会が増加しています。国際会計はそのビジネス社会を結び重要な社会的役割を果たしています。国際会計を学ぶことの意義について解説します。
伊藤 雅道	土壌動物学 生物多様性	土の中の生きものたち	「足元の熱帯林」といわれるくらい土の中にはいろいろな生きものがいて地上の生命を支えてくれています。こうした生物の調査のしかた、名前の調べ方、はたらきなどについて説明し、実習を指導します。
		地球温暖化の基礎知識	地球温暖化ってウソ?それともホント?今から何が起こるの?今までわかっている事実を整理しながらわかりやすく説明します。
		里山の再生を考える	美しい雑木林の再生を材料にしながら、森づくりの理論と技術を学び、日本の自然の再生について考えます。
海老根 敦子	意思決定論	「ウーん、どうしよう!」の科学	誰にも起こりそうな日常の難問を例に、上手な解決のための発想法、本質のとらえ方、意思決定の12の基本とコミュニケーションの重要性について解説します。
大松 寛	ミクロ経済学	はじめての競争政策論 善い独占・悪い競争はあるの?	独占は悪いことと考えられがちですが、独占が望ましい業種があります。顧客をめぐる競争は望ましいことと考えられがちですが、行き過ぎた競争も問題です。この授業では、これらの事例を通して競争政策の考え方の初歩を学びます。
大森 一宏	日本経済史	オリンピック・パラリンピックの社会経済史	2020年に開催される東京でのオリンピック・パラリンピックは、私たちの社会や経済にどのような影響を与えるのでしょうか。オリンピック・パラリンピックの歴史をふりかえりながら、考えてみたいと思います。
大山 明男	環境経済学	個人の行動と環境問題の構造	環境問題の難しさは、問題が人々の行動の相互依存関係に因るところにあります。その構造を明らかにし、有効な解決方法を考えてゆきます。
清海 節子	英語	やさしい英語で自己紹介	英会話をスムーズに進めるために、まず自分について英語で表現できるようにしましょう。やさしい単語と文法で、できるだけ多くの情報を伝える方法を教えます。
		英語らしく発音しよう!	日本語と英語では、発音とリズムがかなり違います。すぐに役に立つ知識とコツで、英語らしい発音に近づける練習をします。
孔 炳龍	会計学 (税務会計系)	ラーメン屋さんはなぜ領収書をだしたがるのか? 必要経費って何だろう	中小企業では、交際費、会議費、厚生費、旅費交通費など多くの必要経費が認められています。支払う税金(法人税)を少なくするにはどうしたら良いでしょうか。本講義では、身近なそば屋さんやラーメン屋さんなどを例に、会社経理の仕組みを伝授します。起業家を目指す人にも必要不可欠な内容になっています。
	会計学 (経営系)	なぜコンビニが合併するの だろう?企業買収を考える	会計は、本来、企業の経済行動の結果を評価するものです。しかしながら、この評価のモノサシである会計(基準)が変化することで、企業の経済活動が逆に変わることがあります。本講義では、かような例として、企業の買収についてとりあげて明らかにします。
	ファイナンス (経済系)	経済と心理 なぜゲームにはまるの?	人間の経済活動を行動経済学的にアプローチします。なぜ経済人が利益を求めて非合理的に行動するのかを明らかにします。あなたは合理的でしょうか、それとも感情的?講義の中で簡単なクイズを出題します。
佐川 和彦	幸福の経済学	幸せはお金で買えるの?	所得が増えても幸福度は伸びておりません。その理由について考えましょう。
張 采瑜	国際フードシステム	食文化からみる台湾の政治と経済	台湾出身の講師が、海外観光旅行先として人気の高い台湾の食文化について紹介することで、台湾の政治や経済と農業の成り立ち・日本との関わりなどについて認識してもらいます。「台湾は小籠包だけじゃない」理由がわかります!
野田 裕康	財政学	政府の経済活動を知る	私たちはなぜ税金を支払うのでしょうか。そして国が集めたこのお金は、いつ、どこで、どのように配分されるのでしょうか。国や県の経済活動をいろいろ考えて見ましょう。
八田 真行	経営情報論	インターネットとユーザー・イノベーション	YouTube、ニコニコ動画、オープンソース、ウィキペディア……インターネットの普及は、人間の知的生産活動のあり方に大きな影響を与えています。インターネットは私たちにどんな力を与えたのか、一緒に考えてみましょう。
前田 悦子	公共経済学	少子高齢社会の年金を考える	年金はなぜ必要なのでしょう?制度の仕組みはどのようになっているのでしょうか?知っておきたい基礎知識を身につけ、少子高齢化が進む中で年金制度を維持していくには、どのような改革が必要であるのかを経済学的な視点で考えてみましょう。

担当者	専門領域	講義タイトル	講義概要
増田 珠子	英文学 イギリス文化	英語でふれる『クマのプーさん』の世界	ディズニーランドで人気のアトラクション「プーさんのハニーハント」は、実はイギリスで1926年に出版された子どものための物語に基づいていると知っていましたか？ ディズニーアニメと比較しながら、原作の物語『クマのプーさん』の世界にふれてみましょう。
		イギリス、カレー、インド一食文化から見る大英帝国と植民地と移民問題	日本で人気のカレーはインド生まれの料理ですが、イギリスでも「国民食」として親しまれています。このカレーを手がかりに、イギリスの歴史や他の国との関係、現在の移民問題を考えてみましょう。
村上 大輔	社会人類学	チベット・ヒマラヤ地域から考える「文化」と「社会」	平均標高4,000メートルを超えるチベット高原。ここには独特の風俗、文化、宗教を発達させ、長い歴史のなかを生きてきたチベット民族が住んでいます。本講義では、彼らの生活について紹介しチベット文化について触れながら、日本の文化や社会について改めて見つめなおす機会を提供したいと思います。
湯浅 由一	金融論	株式会社と株式市場	我々は資本主義経済の中で生活しています。その中心となるメカニズムは株式会社という仕組みであり、これは1602年に生まれたものです。
渡辺 裕子	マーケティング・リサーチ	マーケティングではリサーチはどの役に立つ？	売れる商品を創るためには、過去の経験や勘ではなく、エビデンス(証拠)にもとづく判断が必要です。マーケティングのなかで、リサーチがどのように活用されるのかを考えます。
山崎 義広	マーケティング	マーケティングとデザイン思考から地域を知る	地域に対するマーケティングではアイデアとストーリーの組み合わせが重要です。本講義では地域の魅力を再発見し発信する方法についてワークショップを通じて学びます。

2019年度 メディア情報学部 出張講義内容一覧

○映像・音響メディア分野

担当者	専門領域	講義タイトル	講義概要
今村 庸一	ジャーナリズム、映像メディア	テレビ報道とジャーナリズム	現代社会にテレビは欠かせないメディアです。日々のニュースなど、情報を伝えてくれるテレビには、どんな仕組みがあるのか。映像や音響を使って情報伝達するテレビと、現代のジャーナリズムの課題について、いろいろな観点から考えていきます。
	映画史 映像資料	映画の誕生からトーキー映画まで	アニメからドキュメンタリーまで、世界中で愛されている映画は、いつ、どこで、誰が作ったのでしょうか。一般的には、1895年にフランスのリュミエール兄弟がシネマトグラフという装置を発明したときに、映画が誕生したといわれています。この映画に音声がついてトーキー映画に発展しました。映画の歴史と、その資料的意味を考えます。
大久保 博樹	4K映像 音響	映画は音の効果で完成する	映画やテレビ・ラジオ番組では、たくさんの人に対して感情移入させるために「良い音」が欠かせません。ゴジラのテーマ音楽や波ざるの波の音など、なぜ作った音の方がリアルに聞こえるのかという疑問を、具体的な作品例から説明し、4K映像時代に求められる音響についてお話しします。
	音楽配信・YouTube スマートフォン	今時の音楽や映画の楽しみ方	サブスクリプション型に移行したネットの音楽配信サービスや映画や動画の配信サービス等とスマートフォンやタブレットは切り離せない関係になってきました。こうしたリッチメディアコンテンツが一般的になってきたデジタル社会の現状と今後の展望について一緒に考えていきましょう。
金 基弘	音のデザイン、 良い音の秘密	「音」にもデザインがある	「デザイン」というと、一般に視覚に関わるものと認識されていますが、「音」にもデザイン(例えば、製品音、サイン音、風景の音、映像の音など)があります。私たちの生活の至る所にデザインされた音が存在していますが、改めていろいろな視点で見つめ直すことで、音の魅力とそのデザイン科学に迫ります。
	音に対する感性、 聴能形成	サウンドデザイナーの「耳」に挑戦	「音」に関わるプロたちは、音を物理的な特性と関連づけて聞いています。例えば、純音の1 Hzの周波数の違いを感じることができます。このような音の聞き方は、訓練により身につけることができます。聴感トレーニングを体験しながら、あなたもサウンドデザイナーの「耳」に挑戦してみませんか？
斎賀 和彦	デジタルムービー	大学で学べる最新デジタル映像制作	大学では、どんな映像の授業をやっているのだろうか？映像のゼミってどんな感じ？そんな疑問に答えるこの出張講義は、授業やゼミでどんな教育や制作が行われているのか、どんなところへ就職していくのか。を、実際に最先端のデジタルシネマカメラを駆使するプロでもある教員が、豊富なメイキングビデオを見せながら紹介します。
	クリエイティブ、 業界、仕事	映像業界(クリエイターの仕事)ってどんなところ？キツイ？	最先端の映像・音響を学ぶメディア情報学部ですが、その先の仕事に夢と希望と「不安」を持つ高校生も多いはず。ここでは現役の映像ディレクターでもある教授が、映像業界、アニメ業界、ゲーム業界の実際を夢と現実の両方から解説し、大学で映像を学ぶことの意味と、将来について語ります。
塚本 美恵子	異文化理解、アニメ	アニメで異文化体験	アニメを見ながら「異文化体験」をしてみませんか？
	映像、 メディアリテラシー	映像の読み解き方、教えます!!	さまざまな情報が氾濫している現代社会ですが、こんな社会で情報をきちんと読み解く方法をワークショップで体験してみませんか？

担当者	専門領域	講義タイトル	講義概要
間島 貞幸	映像制作、学生生活、放送業界の仕事	大学で映像制作を学ぶ意味～映像業界で活躍する卒業生たち～	メディア情報学部の映像・音響分野の学生たちは、映像を用いて「いかにわかりやすく伝えるか」について学んでいます。その授業風景や学んだことを活かして映像業界で活躍する卒業生たちの声を紹介しながら大学で映像制作を学ぶという意義や重要性についてお話しします。
	番組制作、放送業界の仕事	人気テレビ番組の秘密	テレビ離れが叫ばれる現在でも、実に多くの人々に支持される人気番組があります。その人気の秘密とは？そしてテレビ局で働く人たちの仕事ぶりややりがいについて貴重なメイキング映像をご覧いただきながらお話しします。

○デジタルデザイン分野

担当者	専門領域	講義タイトル	講義概要
井上 智史	グラフィックデザイン	「デザイン」で「勉強」できるの？	美術やデザインは「センスや才能の勝負」というイメージを持っていませんか？グラフィックデザインの課題を例に、適切な方法で学べばデザイン力は誰にでも身につく、というお話をしたいと思います。
	情報デザイン	「情報」を「デザイン」するってどういうこと？	わかりやすいWebサイトとそうではないWebサイト、わかりやすい印刷物とそうではない印刷物、違いはなぜ生まれるのでしょうか？情報をわかやすく魅力的に伝えるデザイン、というお話をしたいと思います。
城井 光広	シンボルマーク、ピクトグラム、アイコン	シンボルマーク、絵文字とアイコン	主に駅や空港などの公共空間で使用されるピクトグラム（絵文字）について学びます。また、ウェブページで使用する楽しいアイコンのデザインを考えます。
	ユニバーサル、バリアフリー	ユニバーサルデザインとバリアフリー	年齢や障害に関係なく使えるように工夫されたユニバーサルデザインについて学びます。また、高齢者や障害者が社会生活を送るうえで、障壁となるものを取り除くバリアフリーについても学びます。
竹内 俊彦	クイズ、エデュタイメント	クイズで測定する知性	「ある知識を知っているか知らないか」にできるだけ依存せず、しかも楽しく人の「賢さ」を測定するには、ある種のクイズが最適だと考えて、研究していました。実例をたくさん示し、楽しく「知性」について考えてみたいと思います。
	ボードゲーム、エデュタイメント	ボードゲームと教育利用	楽しく教育するために、ボードゲームを利用する研究をしています。たくさんのボードゲームを紹介し、また過去に自分が教育目的のために作ったゲームを紹介しします。
寺嶋 秀美	インターネット、セキュリティ	ネット社会の盲点	ネット社会を生きる私たちはさまざまな危険と共に暮らしています。インターネットのセキュリティの観点からネット利用時の注意点を考察します。
	インターネット、プライバシー、個人情報	ネットの中の個人情報	スマホの普及でインターネットをいつでもどこでも使えるようになりましたが、便利さの陰でさまざまな個人情報が利用されています。このような個人情報の収集と利用について考えます。
社 正文	情報システム、ネットワーク社会	ICTとコミュニケーション	ICT（情報通信技術）とは何かを解説し学びます。また、ICTの普及により生活空間の変化や情報コミュニケーションのあり方を考えます。
	ネットワーク社会、情報セキュリティ	ICT社会と情報セキュリティ	パソコンの登場がわれわれの社会にもたらした変化と日本の情報化社会の進展を解説し、さらにICT社会における必要な情報セキュリティ知識を紹介しします。
本池 巧	サービス・情報のモノ化 IoT(Internet of Things)	すべてのモノがインターネットにつながる世界	今までは、PCやスマートフォンを使ってネットの情報にアクセスしていました。無線通信技術の進歩で、キーホルダー、傘、ぬいぐるみなど従来では考えられなかったモノがインターネットに接続できるようになりました。モノのインターネット化によって、今後どのようなサービスが生まれ私たちの暮らしはどのように変化するかを考えてみたいと思います。
	スマートウォッチ ウェアラブルデバイス ヘルスケア	なんでもスマートになる時代	4月にApple社から発表されたiWatchでスマートウォッチというものが世間に知られるようになってきました。スマートウォッチはどういうもので、どのような使い方ができるのかみながら、今後、身の回りに、どのような電子機器が現れるのかについて考えてみたいと思います。

○図書館・アーカイブズ分野

担当者	専門領域	講義タイトル	講義概要
石川 賀一	図書館、図書館サービス	公共図書館が提供するサービス	今日、図書館は従来の本の貸出だけでなく、地域の情報拠点やまちづくりの拠点としても注目されています。そんな図書館が提供するサービスとそこで活躍する図書館司書のお仕事についてお話しします。
	図書館、情報資源の組織化	本との出会いを演出する～情報資源組織化のおはなし～	図書館では利用者が必要としている、または興味がある資料を入手できるよう所蔵資料を整理しています。整理といっても単なる整理整頓ではありません。様々な条件からの資料検索や、または資料を思いがけず発見し手に取ることができるような工夫を施しています。このような整理を図書館では「情報資源の組織化」と呼んでいます。そのしくみについてお話しします。
野村 正弘	地球の歴史、生命の進化	我々はどこから来たのか 我々は何者か 我々はどこへ行くのか	我々人類の祖先は地球上で生まれ進化し、地球もまた進化してきています。地球と生命の誕生から現在、そして未来について科学的なデータに基づきお話しします。
	メディア、デジタル、ヒト	メディアの進歩と未来—もはやデジタルの船から下りられない—	メディアはめざましい勢いで進歩し、ついにデジタル化というとてもつもの変化を包含し、さらに変化を続けています。この変化で人はどう変わってしまったのか、さらなる変化に対応できるのか、お話しします。

担当者	専門領域	講義タイトル	講義概要
水沼 友宏	図書館、情報サービス	情報の専門家の仕事を知る	図書館にはさまざまな情報が集まり、司書は利用者のためにそれらの情報を整理し、提供しています。講義では、情報の専門家である司書の仕事について、様々な視点から学びます。
	情報の検索、情報の評価	求める情報を見つけ出す	インターネットを中心とした情報が増えるなか、情報を探す方法はますます複雑になっています。講義では、世の中に溢れるさまざまな情報の中から、自らが欲しい情報をすばやく収集する方法について学びます。
村越 一哲	人口、江戸時代	人口から見る江戸時代	日本の人口はこれから減少してゆきますが、江戸時代には激増した時期も変わらない時期もありました。このような特徴を持つ江戸時代の人口をふり返ります。
	文書、記録、記録史料、収集	何がアーカイブされるのか	アーカイブズとは、一般には歴史的な価値を持つと判断された記録（記録史料）を指します。同時に、記録史料を保存する機関や場所のこともアーカイブズと呼びます。アーカイブされるのは記録史料だけではありません。講義では何が収集されるのかに焦点をあててお話しします。

2019年度 現代文化学部 出張講義内容一覧

○観光ホスピタリティコース

担当者	専門領域	講義タイトル	講義概要
天野 宏司	観光地理学 人文地理学	地図で見る校地周辺の100年	現代社会では、GPSをはじめ様々な場面で地図が活用されています。皆さんの高校の周辺でもおよそ100年前から地図が作製され、記録され続けてきました。旧版地形図を用いながら、校地周辺の約100年の変化を観察してみましょう。
小林 将輝	旅行文学	旅行記に書かれた不思議な世界	古い旅行記には、犬頭族、ユニコーン、黄金の国など、不思議な人々や動物、そして土地などが記録されています。本講義ではそれを紹介します。
小林 奈穂美	観光学	ディズニーランドからアメリカ文化を見る	世界的に誰もが知っているディズニーランド。高校生の皆さんも何度となく訪れたことがあると思います。何度行っても飽きない、そして大人から子どもまですべての人を魅了する世界には、創始者であるウォルト・ディズニーの想い、そしてアメリカ文化の裏づけがあります。講義のあと、あらためてディズニーランドに行くと、新しい視点で楽しむことができるのではないのでしょうか。
平井 純子	エコツーリズム論、環境教育	地元のお宝を探す	高校が立地する身近な場所について知っていますか？自分たちの住む地域の「宝探し」をしてみましょう。そして、その「お宝」をどうしたら分かりやすく、また魅力的に発信できるのか、一緒に考えていきたいと思っています。

○スポーツ文化／スポーツキャリアコース

担当者	専門領域	講義タイトル	講義概要
飯田 悠佳子	スポーツ科学	自分の身体を知ろう	スポーツ場面では「身体が硬いとケガをしやすい」という言葉をよく見聞きしますが、本当でしょうか。「身体の硬さ・柔らかさ」の評価方法や成長に伴う変化、スポーツ傷害との関連性などを解説します。
大森 一伸	スポーツ科学	スポーツ選手の筋力トレーニング	アスリートが実力を発揮するためには筋力トレーニングが不可欠です。スポーツ選手の筋力トレーニングの正しい知識と方法について解説します。
		スポーツ栄養学	スポーツ選手がパフォーマンスを高めるためには、「いつ、何を、どのくらい」食べなければいけないのかについて、特にたんぱく質と糖質に焦点をあてて解説します。
久我 晃広	スポーツ科学	運動の仕組み	骨格筋は骨に付着しており、人間の運動を生み出します。この筋の構造と運動が生み出される仕組みを学びます。
狐塚 賢一郎	体育学 体育教育学	コーディネーショントレーニング	コーディネーショントレーニングによる運動能力・競技力の向上について考えます。
小丸 超	スポーツ社会学	スポーツを批判的に捉える	スポーツに関わる諸問題（ex.体罰・パワハラ・ブラック部活動）を取り上げ、こうした問題が起きてしまう原因と解決策について考えます。
信太 直己	公衆衛生学	健康のための運動・食事	適度な運動や栄養バランスのとれた食事が健康に良いということは一般的にも知られていますが、それはなぜでしょうか？ どうして運動が体にいいのか、朝食を食べないとなぜ体に悪いのか、などについて理由を解説します。
鈴木 慶子	体育科教育学 体づくり運動	なぜ、学校には体育があるのか	「逆上がりができたら将来何の役に立つのかな？」と思ったことはありませんか。簡単な実技を取り入れながら、学校体育の意義について解説します。
時本 識資	スポーツ政策論	日本のスポーツビジョン	スポーツには多額の税金が使われています。法律と計画で進められている日本のスポーツの現状と将来の姿について考えます。
朴 周鳳	スポーツ人類学	エスニック・スポーツを考える	エスニック・スポーツとは、特定の地域や民族、生活、宗教の中で形成されてきた伝統的なスポーツを言います。これは統一されたルールを持つ近代スポーツとは異なるものです。このエスニック・スポーツが現社会の中で、いかなる形で伝承され行われているかを解説します。
邑木 隆二	スポーツ科学	スポーツのパフォーマンス向上を考える	あらゆるスポーツの基本である“陸上競技”を理解し、様々なスポーツにおいてのパフォーマンス向上に役立つ内容について解説します。
吉野 貴順	スポーツ生理学 スポーツ、トレーニングの科学	スポーツの競技成績と体力との関係	スポーツの競技成績に及ぼす体力の意義について概説し、科学的なトレーニングの基本的な考え方と、その実践方法について解説します。

担当者	専門領域	講義タイトル	講義概要
岡田 安芸子	日本倫理思想史	益と正月	年中行事には、人々のどのような願いが託されているのでしょうか。
佐竹 由帆	英米文学 英語教育 コーパス言語学	『ハリー・ポッター』を読み直す	映画でおなじみの『ハリー・ポッター』シリーズですが、階級、宗教、病気など様々な切り口で作品を批評的に読むと、今まで知らなかった新しい世界が見えてきます。答えが一つではない多様な読みを体験してみましょう。
長尾 建	日本近現代文学	文学の読解と解釈	文学の読解が一義的であるのに対して、解釈は多様です。いろいろな解釈を楽しみましょう。
J.Matthews	日本近現代史	アメリカ in 東京：戦後に見られた日米比較文化	第二次大戦が終わるや否や、アメリカから50万人以上の兵士や一般人がどっと押し寄せてきました。日本の中にアメリカという国ができたと言っても過言ではありません。二つの文化がこのように共存した形は、歴史家によると史上最大の出来事でした。例えば、今なおファッションやカルチャーで賑わう原宿と戦後直後のアメリカとの関係は一体どのようなものでしょうか？
油井 恵	言語学	英語の敬語	日本語には敬語がありますが、英語に敬語はあるのでしょうか。
秋池 宏美	教育法学 ジェンダー法学	性文化を考える	最近、「性」に関する領域において、民法・刑法の改正が行われております。ここ数年間の最高裁判決や法改正を見ながら、「性文化」の在り方について考えます。
鶴海 末祐子	教育学	先生とジェンダー	小中高の教員集団の男女比率は、教育的にどのような意味をもつのでしょうか。ジェンダーの観点から考えます。
平野 和弘	教育社会学 学校教育	「共感」とは何かを考える	子どもや青年に寄り添うときに必要な「共感」とはどのような力なのか、はたして「共感」が必要なのかを、水俣病や、定時制教育の課題から読み解きます。教育を土台に、社会で生きていくために必要な作法を「共感」をテーマにともに学びましょう。

2019年度 心理学部 出張講義内容一覧

担当者	専門領域	講義タイトル	講義概要
安藤 聡一郎	臨床心理学 青年心理学	発達臨床心理学入門—自分らしく人とつきあうには？—	心の病とは何か、どう対処すればいいのか？なりやすい性格となりにくい性格はあるのか？どのようにすれば予防できるのか？について、フロイト派の心理臨床家であるカレン・ホーナイの理論を引用しつつ、話をしたいと思っています。
岩熊 史朗	パーソナリティ心理学	性格って何だろう？	私たちは他者の性格を理解しながら生活しています。しかし、見ることも触ることもできない性格をなぜ理解できるのでしょうか。そもそも性格とは何なのでしょう。このような問題について考えます。
纒坂 英子	社会心理学	対人認知と外見格差	外見は他者を判断するきわめて重要な要因です。ここでは外見が他者認知に与える影響について心理学の知見を通して解説します。
小俣 謙二	環境心理学 犯罪心理学	犯罪心理学入門	犯罪心理学の最近の話題について解説する。
川邊 譲	臨床心理学 非行臨床	こころの見え方	「こころ」というものは、見ることもさわることもできないものです。そんな「こころ」というものを捉えるための心理学的方法の基礎についてお話しします。
木塚 隆志	宗教思想史	世界終末の思想とヨーロッパの精神	ヨーロッパ社会の中で脈々と受け継がれてきた世界終末の思想とは？ヨーロッパの人々の精神においてキリスト教の終末思想が持つ歴史的・現代的意味を考える。
古曳 牧人	犯罪心理学	犯罪学入門	犯罪や非行の原因論には様々なものがありますが、人はなぜ犯罪や非行を行わないのか？という、一般とは逆の視点から犯罪や非行を論じた理論を紹介いたします。
近藤 育代	臨床心理学	「物の見方」を変えてみよう	私達は同じ物を見ていても、人によって様々な受け止め方をしています。考え方は人それぞれと言いますが、では自分や相手を大切にするために、どのような物の見方ができそうか、考えていきます。
五味 久美子	臨床心理学	思春期・青年期のこころ	自分とは一体何なのかといった課題に直面し、悩む時期といわれている思春期・青年期について解説する。この時期を大切に考えることの必要性も考えていく。
佐古 年穂	インド仏教	現代日本と仏教	お盆などの仏教行事は本当に仏教的か？日本では「死後の世界」はどう考えられているか？仏教は「今」を生きる思想として働き得るか？
杉本 英晴	発達心理学 教育心理学	ほめとしかりの心理学	ほめられると伸びる？しかられるとがんばる？「ほめ」や「しかり」に焦点をあてて、子どもの発達を促すメカニズムを心理学の立場から解説します。
相馬 花恵	発達心理学	赤ちゃんの発達「から」学ぶこと	新生児期から幼児期までの子どもに見られる特徴的な行動を紹介し、そうした行動の意味を探っていきます。
高岸 百合子	臨床心理学	依存症の話	さまざまなもの・ことへの依存症について、心理学の立場から解説を行い、対処法について考えていきます。

担当者	専門領域	講義タイトル	講義概要
信岡 奈生	文化人類学	祭り和社会	日本や南米の祭りを紹介し、社会における祭りの意味を考える。
馬場 存	精神医学	精神医学入門	精神医学は、心に病をもつ人を助けるためにありますが、その学びは人間そのものの理解につながっていきます。その入門として、精神医学とはどのようなものか、全体像をわかりやすく解説してみます。
村越 琢磨	実験心理学 認知心理学	注意の実験的研究	私たちが普段何気なく使っている「注意」が心理学ではどのように考えられ、実験的に研究されているかを解説します。